

「杉田玄白賞」これまでの歩み

杉田玄白賞は、平成14年度にスタート。本年の17回までに、北海道から沖縄まで全国各地から累計231件の応募があり、そのうち22人が表彰されています。

申請者や研究内容は多岐にわたり、大学教授や地域の食育活動団体、専門機関の研究者などから、郷土料理の継承、減塩などの食育活動、食品が体に及ぼす効果の研究など、毎年さまざまな取り組みが寄せられています。

また、申請者の多くは、紫綬褒章や各種学会などの表彰を受賞したり、研究の第一人者としてメディアに出演するなど、いずれも第一線で活躍している人たちであり、特に医学や食に関わる研究者の間で、「杉田玄白賞」は非常に注目度の高いものとなっています。

これまでの16回における、受賞者とその研究内容の一部を紹介します。



第1回(平成14年度)受賞
くろだるみこ
黒田留美子さん

受賞テーマ 『「高齢者ソフト食」の開発』

食べ物をかんだり飲み込んだりする力が弱くても、美味しく食べられる「高齢者ソフト食」を開発。平成26年に特許を取得し、同年に農林水産省から感謝状が贈呈されました

受賞テーマ 『栄養摂取と循環器系疾患の予防』

血管の病気(循環器系疾患)は、遺伝子が関係するものでも、食事によって遺伝子の支配を克服し予防可能であること、日本食が健康に大いに貢献していることを解明しました



第4回(平成17年度)受賞
くにおりけんじろう
郡健二郎さん

受賞テーマ 『尿路結石の発生機序解明と予防』

尿路結石が動脈硬化の類似疾患であることを発見。生活習慣病の1つとして捉え、食生活を改善することによって、予防が可能であることを示しました

受賞テーマ 『へしこの研究(血圧上昇抑制・脂質代謝改善)』

若狭の郷土料理である「へしこ」(青魚のぬか漬)に、血圧の上昇を抑制する効果や、脂質代謝を改善する作用があることを解明しました。当時の福井県立大学副学長



第13回(平成26年度)奨励賞受賞
つづきつとむ
都築毅さん

受賞テーマ 『伝統的日本食と健康長寿の研究』

1970年代～1980年代の伝統的日本食が健康長寿に最も効果的であることを明らかにしました。受賞翌年には日本テレビ系「世界一受けたい授業」に出演、同研究について解説しました

受賞テーマ 『生活習慣病の分子機構の解明と新しい治療戦略の開発について』

内臓に脂肪が蓄積されて起こる慢性炎症に焦点を当て、生活習慣病の分子機構の解明と、新しい治療戦略の開発に関する研究を推進。イギリスの学術誌「Nature」に複数の論文が掲載されています

第2回(平成15年度)受賞
やもりゆきお
家森幸男さん



第8回(平成21年度)受賞
あかはねよしあき
赤羽義章さん



第16回(平成29年度)受賞
おがわよしひろ
小川佳宏さん



 小川さんの記念講演「肥満は万病のもと」は、文化課でDVD(チャンネルOで放送)の貸し出しを行っています。肥満の判定方法や分類、なぜ肥満になるのか、正しいダイエット方法などについて、わかりやすく解説されていますので、ぜひご覧ください。



第17回「杉田玄白賞」の受賞者が決定!

■問い合わせ 文化課 ☎ 64・6034



すぎたげんぱく
杉田玄白は、小浜藩の蘭学医。日本最初の本格的な医学解剖書である「解體新書」を編さんし、日本の医学の進歩と近代文化の発展に大きく貢献しました。

玄白の残した養生訓「養生七不可」からは、食こそ医術の基本であるという「医食同源」の理念が見てとれます。

市では、郷土の偉人・杉田玄白の功績をたたえ、毎年、「食」に関するテーマに沿った進歩的な研究や取り組みを実施している人の中から、功績顕著な人に「杉田玄白賞」を贈り表彰しています。

対象となるテーマは、①「食と医療」、②「食と健康増進」、③「食育と地域活動」の3テーマ。

今年も全国各地から取り組みを募集したところ、3テーマ合わせて13件の応募がありました。

審査委員会(会長 須藤正克・福井大学特別顧問)による審査の結果、「杉田玄白賞」に山田正仁さん(石川県)が、「杉田玄白賞奨励賞」に平田昌弘さん(北海道/小浜市出身)が選ばれました。

12月15日④には、杉田玄白記念公立小浜病院(大手町)で、表彰式と、受賞者による記念講演会を実施し、私たちの身近な生活にも深く関わるその研究内容を、わかりやすく話していただきます。

杉田玄白賞



やまだまさひと
山田正仁さん
金沢大学大学院教授

研究内容 『食による認知症予防』を研究・推進!(テーマ①「食と医療」)

食品摂取の習慣と、認知機能の低下の関連性に注目。緑茶などの食品に含まれる成分が、アルツハイマー病による脳の変化を抑える作用があること、将来的な認知症の発病リスクを減少することを解明しました。

評価点

60歳以上の地域住民約500人を5年間、追跡調査を行うなど、地域に密着した基礎研究が高く評価されました。

記念講演

「認知症を知る、防ぐ、治す～「食」による認知症予防をめざして～
認知症の実態や最新情報、食品による予防法の開発を紹介します。

杉田玄白賞奨励賞



ひらたまさひろ
平田昌弘さん
帯広畜産大学教授

研究内容 世界の乳文化を研究!(テーマ③「食育と地域活動」)

単なる食料に留まらず、保存・加工技術や畜産業など、人類社会の発展を支えた乳文化を研究。世界で初めて乳文化の発達史をまとめ、「ユーラシア大陸における乳文化の一元二極化」仮説として提唱しました。

評価点

約25年間にわたり、アジアやヨーロッパなど世界各地を自らの足で訪ね歩き、乳文化に着目したユニークな調査・研究を行ってきたことが評価されました。

記念講演

「人とミルクの1万年～人類を支えてきた乳文化～」
食料の安定供給や、保存・加工技術や畜産業の発展など、人類の歴史における「革命」を起こしてきた乳文化の世界について紹介します。



第17回「杉田玄白賞」表彰式・記念講演会を開催します!

【とき】12月15日④13時～

【料金】無料

【ところ】杉田玄白記念公立小浜病院9階(大手町) ※どなたでもご来場いただけます

